

皆の地球友好ネット通信

第2号 2014年9月22日 札幌大学名誉教授 金子利喜男編集

ちょうとうは、ちょうしゅうは、ちようこっか、ぜんじんあいはつごうてき
超党派、超宗派、超国家、全人類結合的



世界に多くの友だちをもつ 平和福祉友好協力ネット

この通信が不要のかたは、「通信不要」と返信して下さい。

えんかくにほんごきょうじゅ 遠隔日本語教授

せかいじゅうがいこくじん
世界中の外国人のために
むりょうしょきゅうちゅうきゅうじょうきゅう
無料で初級、中級、上級
こうしにほんごきょうし
講師は私のほか日本語教師

FMラジオ+Skype+^{おおがた}大型TV or 大スクリーン
このシステム構築に^{こうちく}即座に^{そくざ}取り組もう!!

私の札幌大学在職中、OGゼミ生の坂田さんが、
微笑みながら私の研究室にはいつてきて、

「先生、私はヤクト大学で日本語を教えるため
招待状をうけとりました。」と目を輝かせていう。
前世紀の90年代、私のゼミ生やゼミ卒業生は、
外国で日本語を教えることに興味をもちはじめ
たのだ。

はじめて私が外国人学生たちに日本語を教え
たのは、モスクワ大学留学中であり、1989年
同大学で日本語を教えていた早稲田大学の井桁
先生が帰国するとき、その後任をお願いされたの
である。

当時は、日本人が外国で日本語を教授するさい、
適切な日本語の教材がなかったもので、すでに私は
90年代に日本語教科書を作成した。ところが、
いまは21世紀、インターネット時代だ！

初級

ざいしょくちゅう さつぽろだいがく しよぞく
私は在職中、札幌大学の外国語学部^{しよぞく}に所属して、
こくさいかんけいろん
国際関係論を担当してきたのですが、そこで外国
語のほかに、日本語で記すとののような^{こうそう}構想

(idea)の実現は、たんに世界
の日本語理解者のコミュニケ
ーションと相互理解に役立つ
だけでない。日本語の授業とか、
日本学の^{こうぎ}講義などに、日本にい
る日本語教師や日本学の^{せんもんか}専門家が同時に参加で
きる、という画期的な時代の到来だけをも意味す
るのでない。



私の考えでは、このようなグローバルな^{どうじ}同時
参加型の^{さんかがた}会合は、きわめて重要かつ^{たさい}多彩なことが
ら^{がんい}を含意(imply)している。創刊号でのべたよ
うに、このような日本語版のネットは、言語だけ
でなく、政治、経済、文化、観光、その他おおく
の分野にも^{きよ}寄与することができるでしょう。

私といっしょに、平和的ロケットように、時代
の^{せんたん}先端をとんでいきましょう。幸福の^{めがみ}女神がこの
システム構築^{こうちく}参加者と協力者にほほえむことを
^{きねん}祈念しています。

まず私の声をきき、顔をみることから

現在72歳のわたしの右写真の顔をみたところで、あまりおもしろくないですが、じっさいFMラジオでわたしの生の声をきくなら、多少とも地球や宇宙の息吹みたいなものを感じることができるかもしれませんね。

わたしの番組を日曜5時から聴くためには、札幌にいる人たちは78.1メガヘルツ(MHz)、それ以外の日本人と外国人は、つぎの手順にしたがってください。

- 1) まずこれ <http://www.radiokaros.com/> をクリック。すると、画面のいちばん上に[Simal Radio] がでる。
First of all, click <http://www.radiokaros.com/>, and on the top screen you see [Simal Radio].
- 2) つぎに、この[Simal Radio]をクリックして下さい。すると、画面の左側の少し下に[PLAY] がでます。
Secondly, click this [Simal Radio]. Then on the left side appears [PLAY]
- 3) それから、この[PLAY] をクリック。こんどは画面の右側に[78]という数字をみて下さい。この[78]の欄の中央に「ラジオカロスサッポロ」がある。
Then, click the [PLAY]. Now you can see [78] on the right side of this picture. In its center of the horizontal column is 「ラジオカロスサッポロ」
- 4) あとは簡単、「ラジオカロスサッポロ」の下「+」をクリック。すると、緑の丸印があらわれます。

Then click 「+」 just under the 「ラジオカロスサッポロ」 And there appears green circle.

- 5) この緑の丸印をクリックすると、音符「♪」があらわれます。万歳!! これで、皆さんは、生まれて初めて、日本のラジオ放送局から友人、知人、または関係者の実際の声を聴くことになるのではないのでしょうか。

When you click the green circle, there appears a note 「♪」. Banzai!! Hurrah!! Maybe, it will be the first time for you to listen to fresh voice from Japan!!

基礎工事はこれで完了、ご立派! 第2期作業は月末に。それまでSkypeを準備してくださいね。

第2期作業にはいるまえに、皆さんに完了していただきたいことは、1) いまだSkypeを設定していない者で、このシステムに参加したい希望者は、わたしのSkypeのアカウントw-peace-fを自己のコンピューターに入力しておいてください。2) であれば今月末まで、私と少し会話してみなしょうか。

たいわん きんきょうほうこく 台湾の近況報告(2)

日本人と台湾人の友好クラブ規約(案)

創刊号でお知らせしたように、わたしは先月26-30日、台湾に滞在しました。その滞在中、下記の友好クラブ規約の私案を日本語教育導入校に提示しましたので、なにかしら皆さんも、台湾がより身近に感ずることができるでしょう。

というのも、自分が**皆の地球友好ネット通信**(以下、ネット通信)の読者だとつげると、すぐ相手と精神的な共通項があらわれるから。

この規約草案は、北東アジア共同体平和機構(略称は北東ア機構)が、2013年8月22

日に採択(adopt)した「北東ア機構の日本人とモンゴル人の友好クラブ規約(Covenant)」とほぼ同一ですが、ただし今回の金子私案は北東ア機構に言及せず、形式的には規約は、それ自体どの団体からも独立していますので、入会しやすいという長所(merits)がでてきますね。この規約(案)の前文(preamble)は、下記のようにうたっています。



われらが日本人と台湾人は、日本と台湾の両民族の文化・伝統を相互に尊重し合い、日台友好関係の諸団体とその所属会員との協調および調和をはかり、

両民族の文化、スポーツ、交流会などをおし相互理解と友好がふかまることを希望し、

2015年1月1日の新春、われらがクラブ員の門出と前途を祝し、両民族の繁栄を念願しつつ、友好クラブ規約を採択した。

このように、来年の元旦は新たな気持ちで出発することを早くも今から望んでいます。さて、最大重要な条項は、下記の「目的と活動」です：

第1条（目的と活動） この友好クラブ（以下、クラブ）の目的は、つぎのとおりである。

1 人と物の交流をとおして、日本人と台湾人とのあいだの協力と友好関係をふかめる。

2 とくに両民族の青少年が活発に交流し、国際的な親睦^{しんぼく}をふかめることができる場を設定する。

3 両民族の政治、経済、文化、スポーツ、生活、観光など、包括的な学習または研究をおこなう。

4 若者の留学と国際就職^{しゅうしよく しまいこう}を支援し、「地球愛」または「地球友好ネット」の名を使用する団体と個人を援助する。（台湾は日本経済との関係がつよいですね）

5 スポーツの分野では、青少年の野球とサッカーなどの普及^{ふきゅう}に寄与し、**有名選手のファンクラブをもうける**。（赤色は金子による強調。これに前号で少し言及）

6 食文化では、台湾と日本料理の普及^{こうけん}に貢献し、そのための料理の研修、料理関係の観光を促進する。

このクラブは、最初は設立提唱者^{ていしょうしゃ}の私との関係がつよい。規約案の第7条によれば、この所在地は、私の家（下の写真の右側の住宅）の「平和福祉友好館^{ふくし}」としています。ここに北東ア機構^{ほくとうアきこう}の事務所もおかれていますので、この会館はだんだん多くの民族の交流にかかわっていくでしょう。

留学^{しゅうしよく}、就職^{しまいこう}、姉妹校、日本語教師で協力

台湾にかぎらないで、このネット通信^{ネット通信}の会員間では、地球上のいたるところで、自己の得意とする分野で、協力しあっていきましようね。ネット通信^{ネット通信}は、まずは世界中の日本語理解者のe-mailアドレス収集^{しゅうしよく しまいこう}から作業を開始しましたので、当然、海外の諸大学や学生^{しゅうしよく しまいこう}のアドレスが膨大^{ぼうだい}になり、とくに学生らの留学、就職、それに姉妹校や日本語教師などが、たがい大きな関心事^{かんしんじ}になります。

すでに私に海外の大学から、そのような依頼^{いらい}がいくつかあります。どうぞ、読者の皆さまもご遠慮せず、いろいろなご要望^{ようぼう}(request)をおくってください。

1) 校は、学校のほかに、大学の意味もある。

2) 北東アジア共同体平和機構^{POCNA} (Peaceful Organization for Community of Northeast Asia)は、私が主導して、2013年8月22日、日本、ロシアのアジア部、中国、南北朝鮮半島、モンゴルを地理的範囲とする国際団体。

3) 平和福祉友好館 上記の北東ア機構の憲章第53条にしたがって、私が同機構のため4千万円の私財を注ぎ込んで建設した。